價昂騰問題

述べたる通一宣言が

時扇 「建設的、横極的政策につい はるかに顕取されるのみなら はいいで不充分

に終始してゐるのは極めて遺一に終始してゐるのは極めて遺一に反對せんがために反對 畑

に終始を要

・ 保事務當局は事 を大職・商工兩當局

が正々堂々 の重度に終 の重度に終 で徐

日前かかず隣よ所が年来お図る同るしい。
義るを選別れなれませて関する。
本はれる優勝あ調イ節政支たいに
防共か、
本はれる優勝あ調イ節政支たいに
防共か、
本はなる世別と
なる定と図
である定と
るの第一し化を匪ト西以にたは侵
を主人協もをまとこれ活シをに

に提案か

小川兩相會見注目さる

接用を行けない。 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産としては、 を協力財産機会をあったは事實で を協力財産を保養を可能性を を制度力を を制度である。 を制度力を を制度であると を制度であると を制度力を をしたる をしたる

資品機問題は

局 ものに非ざることを確認し、 関連の成行は顔る注目されてか 問題の成行は顔る注目されてか 問題の成行は顔る注目されてか 問題の原因を思誘のみによる

が動き大き事が反映して 取別の政情不安による ではなか ないまするものではな が傾見臓の原因は単に顕

行い世く内

次官會議

有田外相は本日

井上洋服店

處女舞臺に

開 く第七十 議會

相

衆兩院質問の 渡邊千冬、櫻內幸雄、濱田國松氏起

内外超非常時の**眞ツ**只中に今や相斷しい 論義の第一歩をふみ出した、政府、政黨

「神を承り、政友會を代表して鴫將獲田園松氏が続いて起ち、いづれも現内閣の内治外交一般の成績に對し痛烈な批判を加へることになつていた。 「この第一歩をふり、政友會を代表して鴫將獲田園松氏が続いて起ち、いづれも現内閣の内治外交一般の成績に對し痛烈な批判を加へることになつていた。 「この第一歩をふみ出した、政府、政黨はそれぞれ異つた、ついで衆議では午後一時に本會議を閉會、貴族院と同模首相、外相の演説があり、 「超非常時の眞ツ只中に今や相應しいはり切り方で参集、午前十時貴族院は本會議を閉き例年の如くまづ政府の施政方針を明かにすべく廣田、 「おの第一歩をふみ出した、政府、政黨はそれぞれ異つた意味から新しく新職事堂の魔女舞臺に今廿一日をもつて華々しく本舞臺の幕を閉けた。 「京國通」 獲臘来の休會も終り第七十體會はいよいよ常容なつた白墨新装の講事堂に、翻飜とひるがへる日章族のもとにこゝにはじめて國政 黄田の諸氏)

都事件の設生を見、引起のもとに調整を期を提唱して居つたところ、昨年の記を記りまするの重要なるを

黨大會の宣

言

に

りして自力自治 要素たる主権 保護する 保護する 保護する は衆族の知る 液九時同志表したが、

朱哲元氏施艺

て東京國通」賞族院開會十 「東京國通」賞族院開會十 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 一方國內外の情勢を考へるに、 企業、經濟、財政、教育、そ 企業、經濟、財政、教育、そ の伽變多の問題を整へ、他方

一大 施 攻 方針

東大 以上の三項をもつて本年の施
政方針の基幹とする旨を明か
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳
にした、なほ廿日北平より陳

製設して金融難緩和をはか 業の振興、貿易の進展に まの振興、貿易の進展に まの振興、貿易の進展に である

電話回三九四二番

7

と成帝除的のわる交多量な大れ、の八超こはこより即期内の將年年成の栗、の當油療力を懸あ確密 を可國く間でが不調大はら第を調出日しと不れりに方手間に十有立試者石交梁田に國作進の、ずの 希く政の題あ方し整の日びで織印漁暫折に斷が北應を擴騰調一半し親代油夢者試付遵年す解密る方 望速府外につよとに質滿にあ續にに定衝付に行洋ゼ申末に印月に、朝表間を代調交割中る決國に針 すかに意つてりの益賦り紛るし隣は取し再存使漁ざ出了いせ中わま限と題搜表延涉定漁所が政あが

文化の華、

の盛觀

つた。

第二日も、第四日もと、組織 第三日も、第四日もと、組織 を 第三日も、第四日もと、組織 でにあつたららか、これ程の でにあつたららか、これ程の のオリンピックにみられたで

すにいたつたので 特閣の短距離入賞 かつたが四年間の

品

(H

年末年始から引き續き内鮮洲 なほ客車増結

した男が二十日午後二時頃羽女給さんを片つばしから裸に京染量を悪角して態妓さん。

| 護郡生れ中川清七(二十四)

一羽織三枚を三浦屋に入質し

出場者を得たといふのに滿足の各レースは中距離準決勝に

城口、坂本刑事

エーキングの女精の金参の袷 受取り者野町安喰質店にカァ 受取り者野町安喰質店にカァ

停留所名變更京吉線自動車

全へ通知を發せられ度主へ通知を發せられ度主へ通知を發せられ度。 村金の低下 敏速なる通關 一、一般的に希望 荷主通關を便ならしむるため。 の監督下に苦力を常備するためたもにあった順のかに 両は出 商店 では最も商品に通ぜるため。 ではまる。 ではなる。 ではなる。 ではまる。 ではなる。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではなる。 ではな。 ではな。 ではな。 でなな。 でなな。 でなな。 でなな。 でなな。 でな。

何 連絡旅客の往来が多かつた」 には1三等合造一輛を二十日ま に二十五日釜山砂浜京ゆき、に二十五日釜山砂浜京ゆき、に二十五日釜山砂浜京ゆき、 に二十五日釜山砂浜京ゆき、 に二十五日第京登釜山ゆきの上 ちゅうく 運行すると

窃取衣類は入質遊興

十本人 定價金五錢 二色で抽籤券が附いて居

京染屋外交員逮捕衣類は入質遊興に費す

関係代辨に對し 関係であると思は 時は一應荷受人へ電話 時は一應荷受人へ電話 であると思は は知されて布受人へ電話 のの整荷造不十分の が可とれても であると思は はいるのであると思は はいるのであると思は はいるのであると思いる。 はいるのである。 はいるのでな。 はいるのでな。 はいるのでな。 はいる。 はいる。

ボールト十一ケ 六〇銭ボールト十一ケ 八四銭

を では直ちに捜査陣を布いたり タタを奪はれんとした事件が おり、届出に接した首都警察

ニケケーニケケー 大一二ケケー 大一二ケケー 八四〇銭 職五銭銭料

にて對

枕關問題座談會に荷主側

總領事館、満鐵、市公署で 最も有意義に擧行

神を再認識すると共に世 年最々乎として日星の如 年最々乎として日星の如 滿鐵、 代辨業に

同主催にて最も有意義にについては例年各機關合については例年各機關合

あが本年も新京總領事館 強鐵事務局、新京特別市 の三者が主催して記念式

畜々準備 家、講演

同業組合聯合會

人し前にも純

ことを自白して

月からの外交員をして居り昨年十一の外交員をして居り昨年十一

りつけられた被害相當にのほってゐたことを自白したが賣ってゐたことを自白したが賣

金 三

上候致に付御繰合御出席成被下度御案内申左の通り定期總會及新年懇親會開催可

茨城縣人會々員各位に謹告

王盛昌(三十六)で實はみん 重取調べたところ山東省生れ

中銀俱

樂部で

設立具体化

各種同業組合續々

國策の第一義として外交割 東件の緩強するを以て政府 したが、特に日支南國の 気が、特に日支南國の で変如何は東洋の前途に多大 の職係を有するを以て政府 は宜しく支那內外の情勢を で記してその現實に基へざる を促したのである、最に成都、北海 を促したのである。 を促したのである。 とを要望し當局の である、最に成都、北海 がある、最に成都、北海 がある、最に成都、北海 がある。

上州樓、金城樓、ま

刑事が警戒中學動不審の てゐるのを發見本署に引致戦が地金や金指環を多數所持し

せ合金を

のカルタ會が二十 タ會

火保協會幹

挨拶に來社

日本室で開催の 趣味部主催の 趣味部主催の

小 とともに計畫中の同学組合聯 した。同人は常に三中井に出 事のをはじめ、減鐵指定諮問に 二十日午後四時頃率天生れ金 ー のをはじめ、減鐵指定諮問に 二十日午後四時頃率天生れ金 ー のをはじめ、減鐵指定諮問に 二十日午後四時頃率天生れ金 ー

一の四氏は二十一日挨拶に來 書記長篠墻盛

滿洲火災保險協會副會長加

一金三萬九千二百四十九個也 一金三萬九千二百四十九個也 一金四千四百二十圓〇五錢也 前期總量金 一章四千四百二十圓〇五錢也 前期總量金

明けまして

御目出度ら

下煖房所

一、自费所時

自我廼家 (三番)三人公 一月三十日午後云時

朝日通廿五

新京茨城縣人會事務 新京茨城縣人會事務 一個也(常日梅愛の事)

住所氏名職業左

住所氏名職業左配へ御通知ありたり、要に付住所に異動を生じたる會員並に豬加入者は本籍追而御手數乍ら出欠左配へ御通知願度貿名簿作成上必

新京で創立總會を開い

事の用意もあった。 事の用意もあった。 事の用意もあった。 事の用意もあった。 事の用意もあった。

一金貳千興也

一金五千圓也

別途積立金

一金貳千八百貫也一金貳千八百貫也配當金年二割

金豐千多百圓

R

書送付せられたし

新

鹰

滿洲電信電話株式會社

一七路

右希望者は一月廿四日迄に自筆履歴一、資格、外元確賞にして市内に展置人を有するものとで市内に展置人を

樂 糖

一、採用人員

名

巧みに小孩子を操る

不良窃盜團橫

晝の官舍街に戦慄

の金波、菊治、高丸、一惠、た顔六百甌にのほるが。千鳥た、質したり集金を着服したのほるが。千鳥 新京醫院内科へ遼陽から着任 した杉田敬義氏は二十一日挟 後に来社した

新役員決定 特別市理髮業者

右の

で通り候は

本年も相 どうぞ御贔屓

變ら

福信金融依式會社

員選舉を行つた結果左の如く新京特別市理髪業組合では役

本傳、橫田林三郎、河合澄相談役川崎貞夫、評議員鈴西堤富吉、會計小田原正雄組合長松谷久吉、副組合長

用中太次郎、土井福太郎の四本傳、横田林三郎、河合澄本傳、横田林三郎、河合澄本傳、横田林三郎、河合澄本傳、神田本宗郎、河合澄本傳、神田本宗郎、田林三郎、田林三郎、田林三郎、田林三郎、田林三郎、田林三郎

新煙草

現出

名を推學承諾を得たと 特別市旅館下宿

目下盛業中なれど歸國の爲急譲り

度

に出る

御問合せ電(2)二〇九七番へ

新京特別市永昌路六〇一

・申込先 総町第二節ビル六二族衆既整職方・一 資 ・ 工順當日御持豪・ ・ 内澤三郎・ 家

市内目拔の場所

飲食店譲る

五編(五パット)が出ま した繁候と食物に合致し、 た喫味と信します

是非一御愛用を

飲食店組合 大新京旅館、下宿、飲食店租合(特別市側)では二十三日 油常総督を開き、終つて午後 六時から民政部裏かめ家食堂 で新年宴會を催す

間場取所 設備 合所、便所、玄 二量、六昼、八叠

御申込は 電(3)三二七〇番 玄關、押入、床間、水道 -

見玉伯伯母君

久子刀自逝去

御希望の方は御來談あられ度し年齢十三才より十八才位迄 美容見習生募集



一 降に確固たる基礎を築いて了 ・ 対られた五千米と一萬米、更 ・ に孫、南、鹽飽がマラソシに ・ に孫、南、鹽飽がマラソシに ・ はどるを得なかつた、然し年

て、五千米、一萬米には芬崩マラソンの再制覇に偉功をた

の强豪を蹴落して遂に三位

會堂。

五 二〇九 香植 格數名號類

一人物,一人物,一个人

五一百儿



者地日地

獨逸製 近江洋行特選 春のサービス品 ウエストミンスター置時計 十五分打置時計 四五圓〇〇から

清費 し本月初めから あかぎ草染店に住みかへて何 喰はぬ顔をして相髪らず註文 高價に賣却 十二、八六五・七) 五二五十二 五二五十二 五二五十二 五二五十二 八元三・一〇 六三郎、〇一五・八四

大日逮捕されてい 至同年十二月三十一日 第三四回 決算公告



忠治血笑記

博士推賞のキ 節子さ共に

銀座キネマ



元頻無く不安を

を呈する日

宗本英男監督は兼ねてより出

「新しき土」は、應よ音樂 経音も終り、二月四日に 8・ マ系一齊に封切られる事にな つたが、ファンタ博士は滯在 一ケ年の間に、日本のキモノ を大いに推賞し、衣服として 題名、本極り プラ映畵

に情緒圏かな作して雷藤良輔 に発起して



諸物價盆々高騰の折 此の破格的大奉仕

七八十十六五:四個股份——商 · 「個個個個個四個八四六項間七六三 一六七八八四九圓二十十十七八十十十三 十十十十十十一十七八六十十八七四十 被鉄鐵錢錢錢。一數級鐵錢錢錢錢錢錢錢 大 ショール 一、五〇銭より がストンパッター 一、五〇銭より ボストンパッター 一、五〇銭より ボストンパッター 一、五〇銭より ボストンパッター 一、五〇銭より がストンパッター 一、五〇銭より がストンパッター 一、五〇銭より がストンパッター 一、五〇銭より かった 一、五〇銭より がストンパッター 一、五〇銭より かった 一、五〇銭より がった 一、五〇銭より がった 一、五〇銭より がった 一、五〇銭より マーブル州 大 雑貨の一

·製品 電、長精件、御後具、御摩蒲騰、半衿小物、 臭腦細工等

自午前九時半至午后九時半

代表電話 (s) 四一一七番 PAIFA YUNY IHYAKKAU NY



百和中婦手

着荷新



婆 前 田話開通三 町四ノ二八 3

產

味覺で立つ= ®かば焼ト丼● 三笠町ニ丁目 食道樂 **庆文天文宗**王文子文子文子文子文子之 真空掃除機 健康は空氣の浄化から 多季衛生は室内清掃から 靑 靑 葉 澤藤式

金五九圓



御買物は是非此の機會に 堀出物 何處より安い 質流品 Ξ 一番お徳です (鲜 話。三五九 七番

二+ H 價 t v) 回衣 月 0 日 まて



はままれたようなようなものないまますようなままれたものとうとうとうとうとうとうとう

時に依り變化した

黑河省の農業

治安確立に件ひ耕地増大

分は露領に騒出されたのであれ、 本疑後の兵動により最村の披 事疑後の兵動により最村の披 がその極に逃し、昔日の帰見 がその極に逃し、昔日の帰見 のでも無いが、治安の確立 のでも無いが、治安の確立 のでも無いが、治安の確立

ない平地であると可耕

各地特產市況

五事

新京手形交換所

松山宗三郎●水川八市 子主蔵 曲斬り人天狗

千主版 HRFT ハヤブサヒデト猛災 出日街第一編

思市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 市に聚集された特産は北鮮三 日接一個三十五銭である。 市に聚集された特産は北鮮三 日接一個三十五銭である。 市に聚集された特産は北鮮三 日接一個三十五銭である。 市に聚集された特産は北鮮三 日接一個三十五銭である。 市に聚集された特産は北鮮三 日接一個三十五銭である。 市に聚集された特産は北鮮三

《東京図画》大殿省灣表=一月中旬對外貿易概算左の如し

圖住線全通により

特產物北鮮

從來の哈市吸集轉換せ

六千九百萬餘圓

中小商工業金融に 各機關の强化案

中小金融改善委員會で考究

の状況は家畜出廻り期に入り

本月中取扱高 ペスの、00 本月中取扱高 ペスの、00

十二月の交易四千二百

席上恒例により取引人五名のおませんに新年の賀宴を張りたまたれに新年の賀宴を張りては取引所關係方面百餘名を 【大連國通】大連取引所信

計り以て産業開發助成の生氣で終れるり、目下大連にある三井があり、目下大連にある三井があり、目下大連にある三井の様のは、日本のでは、一様を承るものとして注目さ

新京家畜交易市場

漸次活況呈す 景策上乗で樂觀出来ると思は連に於ける本年度の土建界は連に於ける本年度の土建界は

七百二十四 七百二十四 《14、00 家庭 工業 "000、00 三與 洋行 可申請滿洲石油會社 工業等樂工事 了室新樂工事 了室新樂工事 二五六、四 三五六、四 丁埠頭駒内腐朽電柱改 一千二十六個

第1回資本上海爲替本上海爲替本人上海爲替本人之一

映画御案内

置 楽 馴 場

たそがれの維納12.00 5.25 ALI 階下 * 四十段

1.35 0.35 3.35 8.86 4,05 9,05 ママラ 入場料 階 下 六

忠治血笑記憶 密林の荒電ジュ・ヴァンス二少年主演

に有ります 鮨。 內地物下

本月中旬の日本貿易 倍額の入超示す

原因は棉花の急激な輸入増加

二、三四六三、 八一七六三〇二 〇八二五八一六 八九六七五〇四

本月残高。183件本月残高。183件 金元气、至100

商工省の銑鐵政策に

満洲側は不滿

議會終了後に考慮が妥賞

本本天機關區溫水洗罐政築工事 本本天機關區溫水洗罐政築工事 本本天機關區溫水洗罐政築工 市 祖 高 岡 祖 高 岡 祖

商况欄

一月三日

前

經濟電報

おべての

8.23

公債株式賣買

○ 快定工事 ○ 大定工事 ○ 本新京驛貨物五〇七號倉庫仕 可壁出入口新設工事 單獨 七百九十六圓 組 ▲新京驛檢車區各車庫新設に 長谷川工務所 長谷川工務所 車獨 一千九百五十四

の生活に色々の髪ル あることが刻る *** のは事質うなづかり ある 中小西工業への金融の間題、要望もした。 をいぶのも営然のこと、 といぶのも営然のこと、 にはまた業者たちに異へ をいぶのも営然のこと、 にはまた業者たちに異へ をいぶのも営然のこと、 にはまた業者たちに異へ をが到るる満済のこと、 にも々の變化を楽して をが到るる満済のこと、 でとが到るる満済のこと、 でとが到るる満済のこと、 でとが到るる満済のこと、 でとが到るる満済のこと、 でとが知るるされて人々

市況

H.

先當 ▲大阪棉光 一月服 元(10 元月服 元(10 元月服 元(10 元月服 元(10 元) 元月服 元(10 元) 元(10 元)

朝日座

開衆合式を

新京主李

(短期)

新京行商人組合成立委員會は
がで開催された

ス

新京行商人組合 成立委員會

お襲さんと浪人

ハリキレ日活

バ社特作ジョン・ハワード主演] 空中非常線 大城龍太郎・探川藤子主 心出賣式株マネキ都帝

式會社 務取締

高當株式受渡期日間當 決定期日間 當 決定期日間 當 決定期日 付數價の株期單金 間位格額數 六千五百株 豊林に付金二十間也 金二十回也《全額排込費》 項

* * * * * 申申賣壹賣

込込 受株出 費

昭和十二年一月二十九日

割株割株申

松

岡 課 二主

東三條通四二 脱三丁目一七 日本橋通四九 日本橋通七五

曹野町一丁目二日

新京キネマ

市

声

たといめ得るも をといめ得るもので今計

馬場誠相の財政

高大減少する事となる見込

策について申述べる事と

一選るするでは、大のであるが、この複雑なるのと、大のであるが、この複雑なると、大のであるが、この複雑なると、大のであるが、この複雑なのであるが、この複雑なのであるが、できてはない、この複雑なのであるが、であるが、できてはない、であるが、であるが、では、一般を表します。とれては、一般を表します。とれては、一般を表します。とれては、一般を表します。とれては、一般を表します。

「一般を表します。」

「一般を表しまする。」

「一般を表しまする。。

「一般を表しまする。ままする。。

「一般を表しまする。ままする。。

「一般を表しまする。ままする。。

「一般を表しまする。ままする。。まままままする。ま

(東京関連至金報) 十一日の 業職院における濱田國松氏の 業職院における濱田國松氏の を相との論争は議會教會後閉 かれた軍首脳部會議の監硬決 まつて政府は直ちに聚念閣議 を閉き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き三時間にわたつて協議 を開き一時間におたつて協議

財政方針演說要旨

馬

場藏相

を前提し を可能とせざるを得ね を前提し

ならぬ、この點につきあらかじめ外相の措置に粗漏はなかつたかが態法政治は會議の政治が動力を動した動の行はれるのは遺憾でもある。獨裁政治が制力の政治がわが國體を有する國が第乏の極萬と相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでと相容れぬことはいふまでは、獨裁政治がわが國體でと相容れぬことはいふまでは、

馬場職相は十二年度豫算編 直線の問題である

辯は次回にのばすことにし詰め寄り降壊、國務大臣の

学

會停會を奏請

空

往

來

を指摘し、萬世一系の天皇を を指摘し、萬世一系の天皇を でれざる由因を鏤々力號し、 下の天皇を でれざる由因を鏤々力號し、

解約批准不能の原因は、
成明せらるべし、日ソ民の前に一切の眞相を外交の支援をかる爲まれ、
政府は

は を切ってお記びをする で切ってお記びをする は をとれ

中山福蔵君(民政)立

答辯中恫喝云々の言辭をと有田外相は櫻內君に對する

續 紙幣發行腳 幣 型 偏 幣 型 偏 幣

相等 參內

であると忠告した 次いで議事連行に関する であると忠告した 次いで議事連行に関する

で議事連行に関する設言

い、一國の外交方針が根本いたが具體的には判然しな慣田首相は對支三原則を設

疑に入り、第一陣として渡邊千冬子(研究會)登壇、外交問題を取上げ(東京國通)貴族院本會議は午前十一時十三分首相、外相の演説を終り質

貴族院本會議質問

指置を確算および増設案に加へて政府に間はんとするので、当の状態にありて政府に間はんとするのが、こらに方面をかって政府に間は人とするの、この状態にありて、對ソ漁業本條約は批准不能に陥り、の状態にありで、財際において幾多の誤解を特において幾多の誤解を機におって表

か即答せよ と満面着日、そしたのなない と満面着日、陸相をさして語 再び登壇

寺内陸相 いづれ速能録を調

往來

君再び

登壇

陸相さり

詰め

寄る

渡邊千冬子、第一

陣

一策に遺憾表明

緊張裡に幕を明けた第

日

【頁二十刊夕朝紙本】

吉川商會

マテル

板材

が甲板

防、外交兩問

題提げ

L た

午後九時三十分、

田國松

君熱辯

書御公布を奏請すること」なり午後九時十五分廣田首相いて協議の結果、局面の展開をはかるため議會停會の詔[東京國通至急報]政府は廿一日議會散會後緊急閣議を開

は午後九時三十分、湯淺內大臣は九時五十五分失々參內【東京國通至急報】廣田首相の參內に引き續き百武侍從長

左の如く決意を披瀝した 本日は何事も申上げること が出來ませぬ、しかし自分 として深く決するところが あります

議員の發言は 自由なり

衆議院早

を を である、 である、 である、 である。 君登壇

(H)

陣を承つて民政黨の個内幸雄、 に對する人氣頓に险患なるを に對する人氣頓に险患なるを に對する人氣頓に险患なるを に遺憾とするところである。しかるに未だそのある。しかるに未だそのある。 しかるに未だそのある。

一矢を報ひ、大いで濱田國松 濱田國松君 近時我が

議院の反省を求める一方難局一酸せられた

、も雲行險惡

日間を奏請した模様である

多內、

右停會詔書御公布を奏請した、

停會期間は 多分二

濱田國松氏はその心境を左の「東京働通」整室に引揚げた

濱田君語る

龤

如く語った

停會詔書 百發せ らる

九時十五分参内右の冒奏上し
打開のため驟會の停會を奏請 左の如く停會韶書が 展帝國憲法第七條ニョリー 日間帝國議會ノ停會ラ命ス 御名御墓 昭和十二年一月廿一日

た結果、

今日の出來事は一演出と一 等内との論等ではない、陸 軍大臣と衆議院内における論義ではない、 で保障されまける論義ではない、 を感性によって、その自由 は無限のにおける論義ではない、 をの数では、 との数は一変である。 にの数は一変である。 にとなってある。 と考ってある。 にと考ってある。 にと考ってある。 にと考ってある。 にと考ってある。 にと考ってある。 首相 施政方針

のが▼保税倉庫設置

濱田氏演說

に就い

軍重要協

面の批評を綜合すれば左の如方針演説に對する貴族院各方方針演説に對する貴族院各方 くである 貴院側批評 從前通り補鐵會社に於て代 經費を要すること」なるの も足らないものに次、

田氏の演覧を設け

るについて軍要協

首相退出後も

の見透しはつかぬいし、

今の

最初から

念念

を續行

至急報】廣田首相

臨時閣議

馬場藏相語る

村は左の如く語る

閣議散會

は午後十一時宮中

時宮中より退山、

うの内閣が一版であるに近してあるとは確かによるとは確かにから、これを単一なく知何であることは確かに一個人の関に対してあるとはないにの多くに呼ばられるとはないにの多くは呼ばられるとはないにの多くは呼ばられるとはないにの多くは呼ばられるとはないにの多くは呼ばられるとはないにの多くは呼ばられるとはないとのもとはないとのもとはないという。これを単一ないというには、一般に対している。 の言ふところを見ると一とし の言ふところを見ると一とし 出来ぬものはないが▼

TH

行洋林秋通橋

0=

療

てあた、全く困ってあた、全く困っ

(東京國通至急報) 陸相官四

拔瀝

陸相決意を

であり▼従来連絡貨物は浦鐶 であり▼従来連絡貨物は浦鐶 であり▼従来連絡貨物は浦鐶 であり▼従来連絡貨物は浦鐶 であり▼従来連絡貨物は浦鐶 であり▼従来連絡貨物は浦鐶 中の食敷料は無料であつたも 料一件二週の外に高率なる に於て一件三十銭の手数料 氷引くため價格にして百 数料が課せられ然も▼日 事務用品

女中への御心付は堅く御醉退致します









御家族樣にて御利用願ひます 夕餉 御書食には安くてし の御 5 御手軽な一品料理 團 ŧ 欒に h す È 燒

梅津大官以下

ののあることは己むを得ないののあることは己むを得ないののあることは己むを得ない日英関係は往年の日英同盟時代と何等變化を來してゐるない。漁業條約不調印は口實にしたすべからざるを口實にしたったもので何等その實に任ずべきでないと考へてゐる

と述べるや政友會席は置々と

現下の時局に軍部の推進力を展示するかのではないか、そのは一部軍人では一部軍人では一部軍人では一部軍人では一部軍人ではないが、そのはか数でも描いて居られるのではないか、そのほか数でも描いて居られるのではないか、そのほかではないが、そのほかではないが、そのほかではないが、そのほかではからないが、そのほかではないが、そのほかではかい、そのほかでは一部軍人では一部軍人であるが、

廣田首相

登壇

有田外相 日支外交は行語つてあるとは考へない。 日支親善は永年の目的であったがこれが完全に實現をみたことはない、永い日支を切離して失敗だ成功だと 騒ぐことは正しくない。

金融本部附(英國駐在) 金融本部附(英國駐在) 全職本部份(獨總國駐在) 全職本部份(獨總國駐在) 工兵少佐 草場 季喜 工兵少佐 草場 季喜 **陸軍異性** 動(配

南宮中佐

新聞班員任命

二十四五才より三十才位迄 至急本人御來談下さい 女 募 集

喜

電話 新京豐樂路三一四 (3)一八七一番 (中央政店前)

CANAL TANAL TANAL

蒙政部所管內

に無停車、開平に停車するに を要した。なほ特急々行列車 なつた

送菜ホテルに

清食事は

輸入グリルで

輸入百貨店 予買物は

龙

18

に関する件 「、五ヶ年計畫質施族ならび に部落の選定に関する件 、五ヶ年計畫質施設ならび を方法に関する件 、生産物處理に関する件 、種子、農具の購入啓旋 に関する件 に関する件

外

黎觀測所の設

は他軍需品を積載スペインに アレンシア政康は十九日線師道 3

着ひかりで来京した

交換高 (計目)

動副響子鄉當同同同詞同同同同與山 有晚早長廿紅 三生十世

食堂無休

社員會役員會

新京取引市況

によつて支那の保全へ関は門戸開放を主張

第五條 申告手数料の徴牧おる事項は國務總理大臣別にこれを定む

條月

大豆 その

おける昨年十二月中の國際運 を でうち大豆が四千四百四十キ でうち大豆が四千四百四十キ でうち大豆が四千四百四十キ である、単位キロトン を である、単位キロトン を である、単位キロトン

部では午後三時から一階食堂

滿支直通特急車

阪谷滿鐵理事

昨夜來京

全人な立。 さならる 111

五五 人人五三三〇〇六人人〇〇〇三 五五四四六七五五六七七三六五三二六七 二七六三〇六人〇〇六

無停車驛

第一條 土地審定法第三條の第一條 土地審定法第三條の

董東龍延朝錦老 子盛 陽佛頭

さ11111音言書 1 言

英政府に回答が發せられるで

企一百

陸軍 倉庫 大速支庫

一金百八間九十三 海拉拉爾市 海拉爾市

一金三百六十圓五十七錢 一金三百六十圓五十七錢 一金八十四八十五錢 一金八十四八十五錢 一金八十四八十五錢 一金八八十五錢 一金八八十五錢 一金八八八十五錢

一金三百

がある。

間島省內各

扱穀類數量

戸外週間終る

(小計) 七千二百五十二四五十五錢 計) 一萬五千五百九 中一四五十五錢

株

相

九弗一六

八分五八分五八分五八分五八

太

TAT EMERGEO COOCHEO : CAME COCOCA COME COCOCA COCOC

計)七千二百五十二

文教部の講演映畵會

手敷料に闘する件を廿一日満洲駒政府は地籍整理に伴

の如く公布した

地籍整理に伴ふ

衛生保健の向上に

手數料規定

衛生週間。實施

三專門學校

の改新

國立に移管す

施行す、本会は公布の日よりこれを

郵便による時に二銭切手封利の 四月より三ケー、養成期間 四月より三ケー、養成期間 四月より三ケー

文教部の教育國策第一步

金融合作社

人につき決定 年月 金融合作 を了後の待遇 金融合作 人につき決定

在所中手當 每月約七十

副議長二名案

愈よ實現か

なので、副議長二人制はいよ政友會もこれに趣諾する模様

「東京國通」二十日附海軍等 合左の如じ 海軍中佐 占山 良夫 補上海海軍特別陸戰餘附兼分 上海海軍特別陸戰餘附兼分 上海海軍特別陸戰餘附兼分

電氣

ニッ

十一號等

補加納屋海軍航空除分廢長機關少佐 吉田 二郎

今日まで吉林にあり、吉林 一月の鞭定である に選定されたが開校 に選定されたが開校 に選定である に選定である

一時頭において豫算審議期間の「東京関通」政府は議會再會

中央の妥協牽制

三中全會開會に先立

川越大使、張氏訪問

部所管、國立經營となる 本経營を本年度より文教 私立經營を本年度より文教 工業學校

年四村名其地は目下研究中年四村名其地は日下研究中年度より日本語教育其他留學に必須な議備教育其他留學に必須な議備教育其他留學に必須な議備教育其他留學に必須な議備教育其他留學に必須な議備教を日本語教史を で來濫造氣味の留且學生を

合果 義勇軍問題に 計計

は、ペルリン十九日愛園通り、 の他の關係各國が完全に禁止についた。 を変質行することを要求し、 を変質行することを要求し、 を変質行することを要求し、 をを質行することを要求し、 をを有してい、佛そ でこの問題に獨政府に正式の回答を何 でこの問題に獨政府が果して をとる、一方ローマ感間とない有様 でこの問題に独政府が果して をとるに決した模様で、近く 獨伊協調

福州帝國協和會において募集 中の内蒙義軍義捐金應募者名 第三次競表(一月十九日現在) 一金百八十六圓廿三錢 一金四千百六十七圓升一銭 安東省 本部級安東省 本部級安東省 本部級 義捐金應募者名

扱

つ通軸 会社では 新事務 曲

日午後六時二十和卿、熱河省長劉

扱

扱

二十一日)後場

数を開始することになる機電報局に於て電話 事務開始

相

つた は急遽 を

イジワナ

任忌籍整理局總務處調查科長監察院審計官 获田 網治

國務院辭令

外事課長 上し来京は中止にな 外事課長相川勝六氏

(新京事務局) (新京事務局業務課動務を命す 新京事務局業務課動務を命す (新京事務局)

金北 省長來京 列車で來京

滿鐵辭令

ラバ ママス子

イの政府の行動と同様直ちに府はパロス號事件におけるド とみられる

東艦隊司令官に 佛極

海軍辭令 當日特參 込先は商

後五時 り三十分 人 二日報松浦朗氏宛

小賣相場

れる回幹事 山口 時間變更

1萬,00 |車車|

N.55 E.00 1 7 7 E

和

質

和洋 ラ 7 B. 布 剛 出物

※ 器 店



京大經路十六號

料理

使利に御相談に癒じます有價證券其他に付いても 金 融類 丁貨 九番地賣 電景買

電 素中果光型聚聚果一条一条。

用者王爺颱與隆街 一海拉爾西大街

街記集

※二六七章

出無理問音やのは名ばかりの とにばかりである、而して密 したばかりである、而して密

虎林間

千戸町の格野を成しておる。町には新京出身の田中秀次君が、野頭長として頑張つておる。町には牡丹江建設事務所分區の上戸之でも定石通りカフエーヤ戸之でも定石通りカフエー・特別は必ずあるものだ我等は火の無もあるやなしの汽車を外へ後一時致の腹のトラックが成林で故障した。

電

神 樹て」おる旅館の外軍の仕事 中間場にも手を出しておる活 り島でなり斯様な側面 日な青年が堅質に基礎を築い て行くことは顕家的にも喜ぶ (城内)迄乗合自動車にて行 (城内)迄乗合自動車にて行

とて何の役に立つものでない車に如何にストーブを赞いておる客車に乗り込んだが夜中野酒しの客乗り込んだが夜中野酒しの客

は定時を遅るこ と一時間平漸

本の取扱であるが政府のサケスの取扱であるが政府のサケー では国民の自働によるものだ。正午審山、虎林間 の田舎町黒咀に 一 着いた、戸数一

東北國境地帶

あが計量の線路である、我等がなく汽車の通行不能の爲

ま、今月に至ったのであるが 育るもの却て多かった状態の を閉墾するもの少く優たる所

であるが當日は委員一同の外

産物の輸出促進方法

H

ば民國十八年講支事件當時一年陽鎖より幾何もない。さ

日國境党林に向ふことにした

つて数倍に除る敵と交融苦闘 打撃を與へて潰走せしめたと いふ壯烈無比の眼闘狀況が計 日営地第一軍管區司令部に齎

行で一人残らず零細な金品をつたのは白系露人從事員の夢た、なほ今回の作募者で目立

等を視察の後三十一日午後九壌三十日組済所浦三十一日海洲

き二十八日新義州二十

時五十分京城驛漕列車で歸任

完全なる協力を保ちつつ塞風 海洲國軍各部隊は日本軍との

四 果敢な行動は國軍の總鑑として近く軍政部大臣より表彰されることになってゐる

二回委員會を開催するが検討に京城支局」朝鮮貿易調査研究會では來る二十六日午後一時から京畿商職第二會議室で

なほ

研究會

朝鮮貿易調查

塾の活躍

愛路村窮民救濟

哈鐵管下愛路村に 問事處を設置

では花嫁の問合せから家庭野では花嫁の問合せから家庭野では花嫁の問合せから家庭野 脱嚢の 献之を來してゐる、また教育では子弟の教育 る、また教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育では子弟の教育を表している。 の他は七件となってるるの他は七件となってみるの他は七件となってるる。 の他は七件となってるるの他は七件となってるる。 北瀬農村の實情を如

「哈爾濱國道」哈隸愛路係で 「哈士二月分の成績について なるに、総件数九二一件この なるに、総件数九二一件この

の小學校や村長の自宅を當て 大體十二、三蔵から二十五、 六歳までの青少年に對し約二 ケ月間にわたり日語の教授や 別業の指導、順生講話等を行 しめる方針で講師は各站長、 徳村塾を閉設し、これ等農村 で内主要三十六ヶ断に多季愛 ・ 一

村民間に非常な好評! ものとして野野されてゐる だ、何 とのとして野野されてゐるが、何

松岡總裁 婦人社員に講話 つたが締団後の今

婦人、滿鏡社員を夫に持つ夫 気一線の婦人の決意を明瞭に なければならないといふ話 知事に依頼の 満鐵より各府縣 當局も出席のはずである

【京城支局】滿洲國市場への

満州市場に宣傳

表、祖國を追はれた廢帝のに家賓を競賣に付する旨を

日いよいよ自慢の銀皿大コ

このほどその研究

牧生活をやめて

道総出雖魚水産組合、咸南道管、朝鮮維詰水産組合、咸北

廢帝セラシエ

ではない ラシェの立

ラッ

ブ族に

闘する新研究

家寶賣立

海外ニュ

1 ス

末路こそ哀れなもの

名(内婦人十二名)に過ぎなか明の推薦による志望者および事の推薦による志望者および日までに隣鎖に集つた府縣知 推薦 準備を進めてゐる 岸の漁場に於ける實況を視察産關係業者を招待し朝鮮全沿 があるに鑑み朝鮮水産會では 鮮内水産物進出は最近著しき 見せて あるが末だ

氏は銀の納や歌皮とです

銀の首

1にこの「カタス」

苦闘吹雪の中に十時間

共匪を覆滅す

壯烈無比、満洲國軍の威力

近く軍政部大臣表彰

田同社長の挨拶並らびに内地 題に関する座談督を開催、村 同社主催にて擧行した内地滿同衆滿洲日日新聞社では昨秋 兼ね十九日午後二時から新

盛曾裡に散會した 盛曾裡に散會した た、曾場には物見高い買手

新しく作成し直す ものと見られてゐる は三ヶ年位の日時を要する は三ヶ年位の日時を要する

な資料として保存されてゐるかれんの博物館の一室に貴重多敗蒐集、これらはストラクりなど珍奇な彼等の使用物を 少佐は人も知スペインツド發調通】スペイ 弟墜死か ンコ將軍の 軍の第一線に活 の合弟、革命 t刀 親

銀

清洲代理店 東 岡田式二億萬圓消火器 大連市連鎖街栗町四番地 東京 梁川 樹山 睦岡田 電話伏見扱一 商商

○非硫酸·泡沫·不凍·强力 ○絕對安心の出來る消火器 (星グロタカ) 許特質書・案新用賞

一商商

大阪道修町

順天堂醫化學研究所 醬 田 邊 商 店

香 岡田式泡沫消火器 金海器音響水日 社会式株 元實發遊襲 凝信省承認消火器 和 點 品

あなた。無情 輝 は するや、一般を表しているが、一般を表している。

* 君

談のによると先頃ビルパオ港ー選岸空襲に勝して墜落惨死 六盛の革命軍爆撃 最近北部ピス 本=-==(3)話電 積資 立 金



一新

横濱正金銀

一億三千九十萬圓 一億圓全額拂込濟





面石石山 五日上 品樣 0

切製定折查 製性的大投賣!

雑貨化粧

の製圖並に出願手續 新京興安大路建和街角二三五號 大谷(張業)製圖式 大谷(張業)製圖式

新鑛業法に依る制

ります 揃へて有 豊富に取



實厄 と悲身見 **合商間**高 爾高便數通典中京新

和樂器 專門 大丸樂器 丸樂器店

苦痛 發賣

最新 轉々と煩悶する恐るべきモヒ中毒症! 治療 苦惱 鬱人川 道徳の破壊

所でありませう。
あお果何れも効力充分ならざるに惱むことは日常經驗せる結果何れも効力充分ならざること又は其等治療剤に習慣となめなき場合の少なからざること又は其等治療剤に習慣となると中毒の如き原因一定せざるものに異味薬物を用ふる 場合福モナールの如き綜合的に奏効する薬剤をお選び るなる

依る隨伴症状をも好轉せしめ以て其の中毒症状を治療せしむるにあり食慾恢復、安静安眠を爽へ速かに中毒症狀滅退せしむさ共にこれ等中毒にせられたる異常物質の排出を促し、常用麻痺薬の愁求量を滅じ、心身爽快速かに獨特の解毒作用を售み耐へ離き禁斷現象を長時間抑制せられ、生成 モルヒオ並に同類似麻痺等慢性中毒症

青山射擊場跡

場跡に決定した。

ルス符號を無線で送って大西洋を横断してa リエルモ・マルコニ版

年代 た今日の無線時代に當時を回送つ ジョン時代の來るのは極めて送つ ジョン時代の來るのは極めて送って注目を惹いた

新京三笠町一丁目 赤玉カフェー西横入 新東 計 ・ 年 ・ 年 ・ 年

電話3四九三七へ一、各室六疊風呂付一、朝夕二食一ヶ月四十冊五十冊六十冊

三團七品

高御下宿

場所富士町ニ丁

理料泉溢島

第八三五 3 成

医腺

線の幾例家イタリ に参列、素晴しい設達を選げ、十二月十二日は無 らず壯者を凌ぎ元氣で視賞式

レベ×× ヴィ

記念式席上マル

コニ侯像言

マの放送から次には壁の放送 とは寒に感慨に堪えない、文 とは寒に感慨に堪えない、文 とは寒に感慨に堪えない、文

世内の た関もし均 界をれ支ぐ特」思て氏◇ の置て那西大別へ」著一

| 一切機を添付に | 一切機を添付に | 一切機の支那を中心に | 最迄支那の全段間に | 一切機の大部の一切機の | 一切機の | 一切性の | 一性の | 一性

(二月號)

和通り大五(金光教助時)

入船町三丁目二三

融

昭和洋行

新座敷

貸事務室

和通り大五(金光教師

オッン袋補地に決定

その理由は

でなく 頭じですが の場合でも

四、三〇經濟市

果京· 斯京)

らこの姿透性の

(イ)ラ ギ オ 前州唱

は筋分がこいつつあ春からえひませらやく落しほんに今夜

東海中の鹽は低い食鹽 ※透性の結果より濃度 ※透性の結果より濃度

(大連・新家) (大連・新家) 同間 (大連) 時間 (大連) 学でイオリン

三言葉。

の子に限ら

他多様です。

季

節

0

食品

加

カニ〇、時報・ニュース ・ 一〇、〇〇(一)小唄(11) 獨唱 ・ 一〇、〇〇(一)小唄(11) 獨唱 ・ 一〇、〇〇(一)小唄(11) 獨唱

は草が、又吹いた。 に関れたあの土手に で別れたあの土手に でが、又吹いた。

九三〇

小唄

3

田村小初、

大江干鄉

\$

料理

する

婦

0

科

學

他多様です。自分の顔に生れ切りとつた様なルキズ・ブルい弓の様な相、チョッピリと

用ひて大

け

ふ

番

日新M

粧の場合

やちよっと受へるこ いくらでもかへる いくらでもかへる がつかうは生れなが はなが はなが

ります。 自分のお化 はにあきて

200

妨げられ勝ちなので効果は淡 転水よりも鍼物質のカルシウ は類のためにその滲透作用も で効果は淡

へとかけて頂くと、動ながないでは、 ないないでは、 ないでは、 ないでは、

ヤ池岡ン川永山港

二雄二

歌チの

つき」とは昔の話

例へば貴女の眉を剃つて 自在論

映畵女優のに真似なさ

名な映画女優の中などに、 (工夫なさる事は勿い目の形はお顔によつ

(COC) (COC なくとも、すつかり造り違し なくとも、すつかり造り違し てしまひます。新しい信息でしい く場合には、粉の眉邊でしい もかなり、間近でみて別にき たなくみえません然しこれも たなくみえません然しこれも ら別にすつたり、扱いた なつてしまひますから、又とで又かへることが出来なく

▼…累豆を早く焼きます。 は炭火が宜しい。 ・…累豆を早くぶつくりと煮 ますには、買つて來たまるを 布で拭いて、煮立つた湯に入 れて煮ます。水で洗ふと煮立 敷の子 主婦のメモ

一年)

の一個を表すっている。



X短試合をなす(永 宗執行 、上島主水と 六、五五 カレントト

| 本 | 100 = ユース (東京) "○○ 管 絃 独 指揮 放 送 指揮 放 送 山本五十六

防力。開きし兵士

の身も俱々死なの身も俱々死な

・ 荣運わ臨帝痛思 - すむ・ 光びが終想を表示されている。 の世 カのへときされている。

章を、此の胸に置

でを、フランスに

大小小笛三同同三同同同唄 菠蔥蔥 味 味 線 線 出侵矢皇ろ敵の でし、 行、わ時事 が

四九は皇 配を越へ、雨と降る 以め寄せて火統とど

かれたあの夜か、あららめらりよか、 忘ららりまか、 忘らら

の目があの手があの

ほねつ

高、幼年俱樂部二月號には である。 である。 である。 である。 日日案內

電話

金融專門

新京百貨店二階二號室 社

東語(の)二三〇七番

X。堂 可健はどちな場合は を幸ひ、ラデオで廣告放送を を幸ひ、ラデオで廣告放送を させてお金儲けに使ひます。 この放送から小娘の自社とが というで歌の自社とが でついて行って

癖はれし、我が皇

、女々しや、妻子

常は、我が皇帝は、我が皇帝は、

(邦語にて歌はなる)

人の精兵

等に、原本のは、 を中では、 を中では、 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 でなるのはめでたい、 での歌半を語る座談會」立教 をでする。 をでする。 の歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教 での歌半を語る座談會」立教

れ急ぎて、力も失

の親切さにの親切さに

タ

イプライタ問

聖話る二〇七九信葵舎

帳簿專門 三省堂製本所 電 ミニョニハチ 新京永樂町 一一 大 一社

サックへ風化作用マ 電話8三三三四番

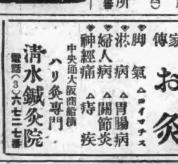
東三馬路線電臺下東三馬路線電臺下東三馬路線電臺下

本合 屋はれるなら 九州堂療院 あん 3













鬼話(3) 六八三七番 光づ問合せは同和號へ

富士町五丁目四

號

古孤河一丁目

下宿及貸間





△電路用鐵花









です先づ生れつきの眉を剃刀です先づ生れつきの眉を剃刀です先がにかへてみるのも一興 ります まづ限にもあでやかかな話して見ませう。 ズコ 油をかけ なことを

はごすよりも、ブル の升を噛みにく 作用を持つ成分が含まれてを破らない程度に柔軟にす れは大根の酵素の中に 外

数の子 は、普通た に水に浸けて鹽出しますが、 これにはその水の中に食鹽を 入れた方が遙かに早く鹽出し 三、〇〇 經濟市 とその計畫 (とその計畫 (をとその計畫 (本語) (本 あけぼの 第京より

市況(東京) (東京) (東京) (東京) (東京) 古三節分 かなればろに白魚のかいりというないからすのたがでのよるつめたいいますのたというないがあります。 ないた初島つれきないた初島のに頭のそれとよれんなないた初島のたまなれたれたないになったないになったるないになったるないになった。 し羽からち

竹は八幡 たその竹、どうぢゃいな、雪がつもりてちらく一願けさんすがわしゃられた。雪がつもりてちらく一願日さす。のび一二人が仲は二世もかはりやか お前といっしよ おっといつしまにくらすならる手わぎ来でるま細たにがは の布さらしない針しごといや 戦の神の稜威、着空にとど ・ 「神の稜」 ・ 「本典は原語に依 やけのら

で灯かげが目に必みで笑ほとすれど

今宵出船か、お名の建皆 えねど、別れの小唄 渡間に雪が散る

で着いたら便をくりで手鳥も泣くぞいな

からに、讀もうもの

ラチオ四線二十國より 施野東四馬路二八 公益能社 城内東四馬路二八 公益能社 新一〇六號 命鹿サク軍(2)三四〇九

全电子口 質度し中介計解 間合せは

大和運輸有別越及建築ナポ材料一般開意ノバルの八番を出町九ノニを設定を発・水材料一般

E

解II無脫纖 **廖辨今** 查立三個

峰

電(四)一八五五

ぶたまん専門 成や

東の五九五日

サラリーマッへ低料 金融電話(ミンベニ六七番船橋 金融電話(ミンベニ六七番船橋 電話)格安譲度

永清 日本海通四七

帝牛木裏

中头通 - 五裕泰號內 宋松接骨院

本イヤ海(権を技町一ノー四) 女子 専門 (3) 六40九番

大学、大学集工学、女店員、女事務員其他 お茶・茶道具 みどり茶園 電話 3 西七七〇番





海用の専門店の限ル

性の百貨店

あ

章 3-2082

(諷刺ふらに)

情を告げると、「だくは地獄へ這入れた。元の岐れ路に本

は

る人間だつたのかり、」「君の良心に薄

はまるで反動に歩きにくい道 かいた。がこの道は地獄道と かいた。がこの道は地獄道と

作用で

かにする

殿前郷せー

で解さるより

地を初詣

に 自分で判らないのですが…… 帳を調べ始めた。「あの今村 し ?」「さらか、ぢァ文學を愛 つて方は前世からなんの通知 した徳もあるし、君地獄へゆ も受けてをりませんが……も かきたまイ」文學を愛した徳で し極樂と間違つて御出になら かまたのだつた。が、なんといゝ 「では前世で悪事をとしたです」 した憶えばないけれど、先輩 たのだつた。が、なんといゝ が地様へゆけとおつしやるかま たのだつた。が、なんといゝ が地様へゆけとおつしやるかま たのだつた。が、なんといゝ が地様へゆけとおつしやるかま たのだつた。が、なんといゝ が地様へゆけとおつしやるかま たのだつた。が、なんといゝ が地様へゆけとおつしやるかま たんでせら、それに生前文學 をほんの少しばかり働かしさ を志してゐましたのでその徳

骸を調べ始めた。「あの今村でれから片手に持つてゐた手」がんさうな顔で僕の顔をみ、

だしい沈澱の上に一歩一歩足をのせるのに程よく煉瓦みたいなものが置いてあつて、それには(督俗の掟)と書いてある。僕はこの掟さへふんで歩けば極樂へゆけるのだと、一歩一歩正しく践んでいつた

日本人風日

な父娘かなるが父娘かな

東京樂院 東京藥院 樂節を

命

喫

お

菓子

自由

世帶道具。

加藤

:陶

洋

と、未だ一度だつて出逢つたと、未だ一度だつて出逢つたと、未だ一度だつて出逢つたられ吹き、鳥は群れ遊び美しいれ吹き、鳥は群れ遊び美しいない。 (霹靂酒) の匂はかくといふ (霹靂酒) の匂はかくといる (霹靂酒) の匂はかくといる (震震酒) の匂はかくといる (震震酒) の匂はがしません。

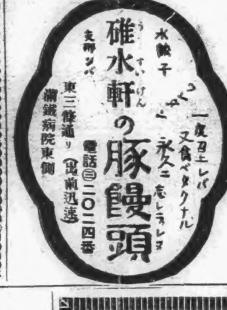
ならで、車質れてきて、來た道を後かれてきて、來た道を後かしたやらに、本た道を後

氏酸行、非賣品) 氏酸行、非賣品) 大田區内幸町一五、中西百一 東京市輸 東京市輸 東京市輸 東京市輸

裸像一つ卓に寂しや御降りす かな 五 常 常 の 一人

庭僚や大門松の鎖もれる

そそう (大き)



和洋樂器修理一式 眼鏡也双眼鏡は 專門店清眼 御指定 大 丸 樂

OB 店

コーヒーに終る夜は和やかです。本村 常夏の 國に生 n 南 或 0 木村コーヒ店

京出張所



0

本領たる連集の保設にはい から構築の標式、雷時の政治 が連詳されてゐる。 機さるゝところは 関値について博士が第一に指

解説であつて親しみ深く譲まてゐる所も大衆向きに平朋な 歴史、由緒について槪説され

下水道の故障は 新京和泉町二丁目廿二

廣告御用命は電話のご〇〇番へ

祝町三里子堂前

中 羽 知識 病 敬 病 市 立 病 強 職 病 院 限 科 醫 院 限 科 醫 院 限 科

である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 である。
 では、
 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

11946

(B

は明和九年六月頃から渡る食社に拠めてあましたが、岩房の町から食骸が離まず身優が日々に残験するので、結めのの町から食骸が離まず身優が日々に残験するので、結めのの町から食骸が離まず身優が日々に残験するので、結めのの大きないたが、窓外にも左股膜炎だといはれた時の悲しみ、一ましたが、窓外にも左股膜炎だといばれた時の悲しみ、一まりるだけ泣き、すべてを涙で諦め、飯田淋しい憂鬱な日

製物したもので、この薬は今日報 製物したもので、この薬は今日報 この若葉(わかもと)は東京 この若葉(わかもと)は東京 この若葉(わかもと)は東京

隘

姉から贈られた薬で

肋膜炎が軽快

2

さんをのさ中、 異都ひとつ

(わかもと)を服用する縁になってから泉崎が大阪に

をいった。 といった。 をいった。 といった。 をいった。 といった。 とい。 といった。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 とい。 とい。 とい。 といる。 といる。 とい。 とい。 といる。 とい。 とい。 とい。 といる。

となるが、これが充分にあると
 変した。
 変数の
 のどこかに変数の
 のどこかに変数の

にする

サイタミンAが サイタミンAが 脱乏すると身體 ない変態にはデイタミンAの関係を服めば必ず治療するが、からないを服めば必ず治療する

成するアミノ酸の缺乏から來またいふのがありますが、それは 性内のいろと (の腺や臓器から 分泌するホルモンが不足するので、多くの場合、ホルモンを合で、多くの場合、ホルモンを合いよのがありますが、それは

抵抗力を興へる無機が表

飲的 があるので、燃へは

る場合が多いのであります。

国収工 英國の有名な豪養国収工 英國の有名な豪養国収工 英國の有名な豪養



就

たどその成分の祭養価値にのみなれたものといへます。

水道。修緣

が立に

麵類種

A

鰻

どかんば

U) 3

給排水設備

工事は

(3)四三三

五番へ

胃腸の働きを強

病氣や體 向き 不向のある榮養

果があります。 だから、例へ特別の滋養物を構 だから、例へ特別の滋養物を翻けて のながら、この要を服み始めてか ら菜養がよくなり、身齢が配つて ら菜養がよくなり、身齢が配って にまで注意したものは発どありませんが若常(わかもと)は一方智感を大きにするだけもので、野殿の働きを大きにするが

(街ヤイダ) 目丁一町欒永京新

一五五(3)型

風邪ひき易い體質を を動物を選べば適應の範疇も既く で間違いが少いのであります。 で間違いが少いのであります。 多く含まれた

いる / 一菱雲線を服んだが深いした効果がなくて失望する人が可いなりありますが、同じ夢査機でも素験の脱版によってがく人と対かな脱版があります。なぜかと時しまでも同じ標な病気になるには標々をしませる。一種、病気になるには標々をしませる。

な味! 0 泉

話(2)

0 五番

新

京

路

意隨院力

これはペーフェといふ一種の要用が とればペーフェといふ一種の要用が に集積する事は特成出来ませぬが に集積する事は特成出来ませぬが





和京名物

電氣燒



生、清潔

養美味



出前迅速



八陸春飯店

大和通五番地 五番地



務所





疊 0 御用は 絶對信用の出來る 鵜殿兄弟商會 電話(3)二四八二番 室町公學校前









毛皮類 小内 八見科 医学士 院長 科科 医学士 河野五百里 出 松 木 虫

亭

ĨŒ.

・六五三〇番

帽子 ドライイリーシグ篠崎商會 プレッシングは特に迅速可等修理はけり 朝日通了深町病院前電四四六〇







で行的か

れてゐないのです、手塚と いふ人がオリンピックにつ たつたといふ感でやつてる をのです、前よりはずつと 変手の方でルール相違で の一番苦しんだのは何です。

耐ればかならず勝つ

一新京體育聯盟、本社主催

の縁起

催、出席者瀬川副園長、竹 たが、市公署では市營住宅 四時半から西廣場小學校で こゝ當分實現の見込薄とな 第一回評讀會は二十一日午 都に於ける借家賃の値下げ 配生れた新京少年國後援會 材料の暴騰に刺戦を受けて

本が、市公署では市營住宅の おに於ける借家賃の値下げは こへ當分實現の見込薄となつ こへ當分實現の見込薄となっ

好評嘖々たるに鑑み、本年十一月 一手所有地に市營住宅、店舗を 手所有地に市營住宅、店舗を 手所有地に市營住宅、店舗を で、本年度

野は庶民サラリーンにマとつ 事することになつた、綾工の が資金計畫に答

等者間で下打合せを行つた 特がち事務局二階會議室で制 をれに先だち二十一日午後一

本年度更に增築計畫

舊國務院裏に十一月頃竣工

年團後接會

役員決定

-八ヶ所の報告。設備不完全 衛生當局、對策考究

大島小島校の尋常六年生在第 兄童敷は男女合せて百八十八 名(二十日現在)中上級學校

新京自動車株式會社

營業準備進む

院前一日本橋一新京縣一宮內府(下車)一廳

の内澤は左部

場

所星

取

八島校でも

上級校志

通りである
▲京中四十五名▲京高三十子中一名、女子十五名▲京高年二十三名▲高等料男
正高女二十三名▲高等料男
・大・一名、女子十五名▲六
・大・一名、女子十五名▲京高三十

最新型自動車を使用 馬夫の服裝改良

に四時間を要したのが三 觀光協會、 今年の計畫協議

を関へるべく努めてるる を関へるべく努めてるる。 を関へるべく努めてるる。 動車も是不型。 ・に短縮、料金も從前一脚五十 に短縮、料金も從前一脚五十 になった、亦遊覧馬車も優良 と 大興ビル(下車)ー新一興亜街―國都建設局(下

悪宗支部建物を利

京課 京課 「電話」 「電話」 「電話」 「「電話」 「「電話」 「「電話」 「「電話」 「「電話」 「「です」」 「「です」」 「「です」」 「「です」」 「「です」」 「「です」」 「です」」 「です」」 「です」 「です」」 「です」 「でする。 「です。 「です。 「です。 「でする。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「でする。 「です。 「です。 「でする。 「です。 「でする。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。 「です。

収容難に鑑み満鐵で

も同意

で急 観られ、細

るるので、來る四月 一般王寺でも黄々で偏 一般王寺でも黄々で偏

心地もせのと二十

新京師前―中央通り―電網・新京師前(下車)―解前(下車)―解前・下車)―解前―宮網務院前―宮網務院前―宮網務院前―宮

職第一回は十五日に開催した 事主催を統一する打ち合せ会

下打合ゼ

容人賃百五十名〉と西本園寺都に、学校入學適節期前の小見を收容教育する幼稚園は室見を收容教育する幼稚園は室 幼稚園開設か

設立は に日蓮宗滿洲總支部の敷地を

本社主催、

二月中旬期し

八狗連の顔合せ

プレン・ 首都警察

を廣生

昭和十二年一月二十日 吉野町永樂町

東亞號藥房

一、場所時

三圓也 (常日 持参の事) 一月三十日午後六時

朝日通廿五大產公司內

新京装城縣人會事務所

申候間~炎當店とは一切關係無之事 右者今度都合に依り圓滿退店致させ

解雇廣告

THE TATE OF THE OF

店

片山芳太郎

上候数に付御繰合御出席成被下度御案内申

住所氏名職業左記へ御通知ありたし要に付住所に異動を生じたる會員並に新加入者は本籍追而御手數乍ら出欠左記へ御通知顧度尚名無悖威上必

左の通り定期總會及新年懇親會開電

茨城縣人會々員各位に謹い

一 學事係とも相談を進めてゐる 一 學事係とも相談を進めてゐる 一 学が決定し、端鐵新京事終局 全新京かる

来る二月中旬を期して全新京と前で開かれてゐるが我社は、各所で開かれてゐるが我社は、

選手の顔合せであつな子寄を愉しむこととなっている。

もある、出場資格性新京居住 修練を積み明年あたり新京に を満大會を開催する下準備で

下準備で

會に各所屬對抗試

者に限り場所其他は決定次第

たいつて敗けたこと はありません があれば必 新報題は

さした(洪笑、讀く) ると苦職しますへ 天理教映畵會の

三十鵬を賛民教済にと廿一日時満観賞會の入場料中純益金 署に寄附を申し出た 純益を寄附

の箔とい

中島 一局洪第 一局洪第

勝負左の如し 第七日目勝負

山(おしだし)顔 島 逆につきだし)射 水川

三新

(東京國通) 大相撲七日目中

時三四

營業時間午前十時より午後六時まで

局線八本により各賣場へ接續いたします

一番へ

お買物は晝間

に旗線

上げせ

門脇さんの教念や思ふべしやないか?と言ふ錯覺」…

たます。 たった。 ですから ですから ですから

マータされたことは手振りを發揮した様で

中島 一寸大會におけるスピード審判の不備に對してはガッチョした體格と充分を振った。一萬米質に残念であった、一萬米質に残った。一萬米では一下でないといける大は、とうしてもなった。

新京初等學校學用品研究會 引き織いて唱歌、手工、體細が行はれた、なほ二十二日もが行はれた、なほ二十二日も 學校に委員三十五名 學用品研究會

説ひに大切に買つて置いため置きから一緒の林橋が翌日の自分のこの林橋が翌日の自分の も頭に閃く



不敵の泥的が推るした▼この 夜流石敏腕の門脇さんも寝の ・前後不覺の高鼾、賊は悠々 と物置きから一籍の林檎をう と物置きから一籍の林檎をう があの者の家と知っ の家に去 の家に去 、自 費 五鷹當日御持多 內澤三飍、宴會 費 五圓當日御持多 内澤二 野 五圓當日御持多 内澤二 一月二十七日(水曜)午後六時

廣告御用命は電話のヨヨ〇〇番へ

島 根縣人會員に告ぐ

飲食店譲る

市内目板の場所 目下盛業中なれど歸國の爲急讓り度

御問合世電(2)二〇九七番へ

は電話 電話本局(2)二八一 STORE STORE は用 命 お

車体の廢合、 能を發揮し、料金は旣報の通婚設して市民の足としての機 案內所制度充實

銘他、セルの衣類を窃取逃走 マ子さん方で黒モスの女羽織 マ子さん方で黒モスの女羽織 類を窃取

横領犯の良心

八九電氣工事事務員を 住診 电診 班婦預

るる中事務所の金百五十餘 連と逃げ隠れて廻つたが犯し た罪の呵責に惱まされ生きた 左膊龜裂骨傷 北錦休場

立男清饒笠海桂太綾続綾射高金大 女水 電光 刀 の 水 八 のの 部刊川岩山山川若若里川川登湊州 (休場)

MANAGES STATES STATES STATES STATES STATES STATES

希望の御方は左配へ御來談ありたし

常盤旅館 内新京三立町ニノ八電

三二五

十六才以上

解カフ

工

國境」

国の選びになるもの

下名内外である である、なほ第一回募集は六 の選びになるものとみられ の選びになるものとみられ



ざいませらぜ仲間の漁師もお前さ

いふのも、是りや何かの因縁でご

か、此處で機八ね糖は側なき戦り

がな機関の際に私の船で助けたと

地の思い事をいはずに、

『後生でございます、そんな意

るった内側さんへぬは相談だがあ

其上では又どうとでも出來る、目

をつぶつて極人に身を任せやうい

れ方便用も角も云ふなり次館にな

女の贈る物はあるじやなし。こ

エい、マア、しばらく得つてゐな べといっても行くものはあります は容易ならぬ事でねえだから、

うする事も出来ない、男権権の変

場ならぬ事でねえだから、態

の妖魔が食ひこんでゐる

こんな野郎に身をまかせるの

へ、其内に人を見つけやずから

んをたすけたと330 に載らなし平もなし編分者、年情・

るをたすけたと云ふので、遊び私

所も見違い」からいつその様と

杯でがしてねハ、、、、お願さん

部分の家に置いてはけんのんで塩

うが、私たちは他間の奴を顧あつは他を失つてゐて知らなかつたら

と、解信の新聞におれの、は、の最

理里、熊吉からいはれるまでも (業上級) 魔: 內桃 燕

太郎

二演

ん、實は手崩は下野の宇都震上河 既で是は手前館みたくはありませ 天命も皆識へしづめてしまつて、命さへあれば何らにでもなるが、 なく、裸では外歩きは出来ない。 れの者があつたのですが、突も 「師尤もでございます、成型機 助かった の京郎に録を確認され、彼いて雅 の京郎に録を確認され、彼いて雅 された、無教賞の女には直顧の駅 された、無教賞の女には直顧の駅 であない、囲夢節は歌音々々で棚 でしてく た側合ひには直集問題は腹頭だつ女や地なぞがあって眼検のなかつ た不実はお家の御法院として、武 し婦女子の横み物としては女庭園 といふ通れたものはなかつたり

ではどうすること

一様に機能しましたが、

日や二百の金は直に呼だして逃ばざいます、後国屋をやりますれば 鬼を取ってくれば貴庸にも充分の 扱ひ店田原屋五左衛門の内職でご 十萬島限といはれる戦物の 四家に仕へる女で穴脈をきつたもの 家に仕へる女で穴脈をきつたもの おらいへば悪降の進んだ今の時代 路女の耳に止める、かたん 大陸 を政めて、是が耳尾間といふ調で

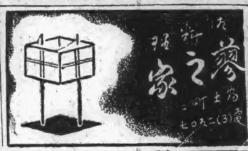
を結んでしまひましたテア斯らな ありませんが彼の皮質には機能はました、独は難は田原樹の女房、一般は難は田原樹の女房、

電話3三三〇〇番

番五六八三③常

廣告の御用命は 東条通青陽じルー階 電3-2483





電話〇三七四八番

理論ながけに良強問題はかへつて



町枝ヶ楠街ヤイタ



=

~館

大中小各種用器 燃 目丁四町吉住京新 支 號



後



心地の 藝技の御も









字社救療所



